

自施設実習の流れ

6月21日 自施設内でのオリエンテーション

自施設・事業所（上司・チーム・事例対象者など）へ取り組み計画書①に基づき、実習の目的・展開内容及び協力してもらう内容について説明する。
事業所スタッフに実習のスケジュールについてチーム内での共有及び調整を行う。

※ オリエンテーション・グループワークの内容＜例＞

認知症の人への取り組み	支援者への取り組み
①対象者が不安に思っていることは？	①必要な知識を習得する。
②対象者が行って欲しいケアは？	②必要な技術を習得する。
③対象者へのケアの実践方法は？	③ケアを行う際の留意点共有し実践する。

6月22日
～6月27
日

自施設実習 前半 （アセスメントのための観察等やケア実践）



4日間

2日間 … アセスメントが妥当であるかを観察や聴き取り等で確認する。
2日間 … 取り組みを実践してみて原因分析や取り組みの妥当性の確認する。

6月29日 中間報告会①

前半の実習を通して、アセスメントや取り組みが妥当であったかのを担当指導者と面談による確認を行い、具体的な実践計画書（取り組み計画書②）を作成する。

6月30日
～7月10
日

自施設実習 中間 （具体的なケアの実践と達成度確認）



7日間

取り組み計画書②のスケジュールに基づいて実践する。
実践した内容は全て記録に残し、実践の達成度を確認する。

7月12日 中間報告会②

担当指導者と共に、自施設実習の記録による取り組み状況や達成状況を確認し、今後の結果や考察に向けての不足部分や追加項目に沿って取り組み計画書③を作成し、まとめに向けて実習で行うべきことを明確にする

7月13日
～7月26
日

自施設実習 後半 （ケアの実践の改善とステップアップ・プロセスや結果評価）



8日間

取り組み計画書③に基づいて実践する。
認知症の人の生活支援に関する実践に対しての評価を行う。

7月28日 自施設実習評価（報告会）

アセスメントやケアの実践に関する計画の実践結果を整理した上で、客観的に評価・分析して今後の課題を明確にする。

※ 今後の課題：今回の取り組みが、認知症の人に対してどのような影響を与えたか、また今後につなげていきたいことについて記入する！